

超速硬ポリウレタン樹脂吹付

剥落防止工 2万m²に初

首都高速5号池袋線の護国寺ランプ付近他の床構造改築工事1-81（その1）および同（そ

の2）において、コンクリート片剥落防止工約2万平方㍍に、超速硬化ボリウレタン樹脂吹付けによる剥落防止工を採用した。同高速では初めての事例。

大幅な工期短縮とコスト縮減、狭隘部での施工性の良さなどを考慮したもの。

従来のビニロンメッシュ工法では工程が多く、手作業で施工に要する人數も多いため「コストを抑えられなかつた」（元請の三井住友建設）。また、現場は防止工の下端であ



ポリウレタン樹脂の吹付け作業

元請は三井住友建設。材料はダイフレックス。

る下フランジ裏面と仮設足場の床面との間が最小70㌢の余裕しか無く、長時間の手作業は難しかった。そのため、実績のある工法を調査。機械吹き付けで施工効率も良くな、工程もプライマーと一緒にコストダウンが図られた。

吹き付けによる飛散は外縁部や足場金具に密に養生シートを設けることとで完全に防止している。

その結果、施工人員を抑えつつ、1径間当たり工期は1日と従来工法の3分の1に短縮。計画通りのコストダウンが図られた。